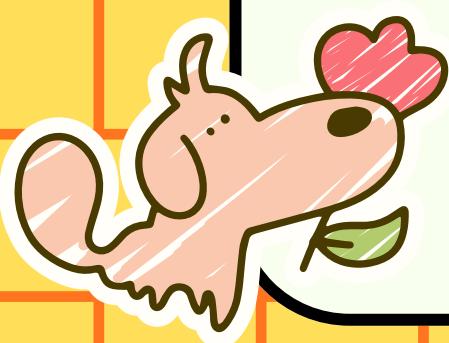


~ペットとつくる小杉の賑わいと共生のかたち~ こすぎ ペットえんがわ

大学院 環境・社会基盤工学専攻1年 石黒 詩歩



序論

【目的】

小杉駅周辺地区のにぎわい創出

【背景】

射水市の課題：若者・子育て世代が増加中であるが、交流の場が少ない

☆世代を問わず関心・人気があるペットは「地域のつなぎ役」になるのでは？

☆令和6年能登半島地震を経て、ペット防災への関心が増加・周知の必要性



協働相手

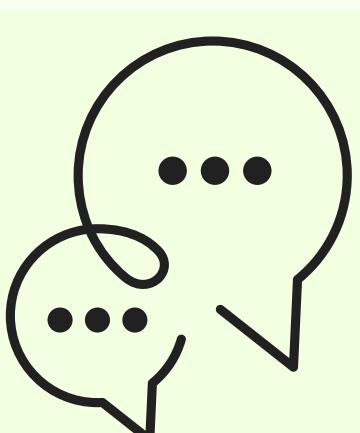
○射水市 政策推進課

○小杉まちづくり協議会…住民に誇りと愛着を感じてもらえるよう、様々なにぎわい事業を創出することを目的に活動する協議会



企画概要

企画の3つの柱



多世代交流の促進



地域資源の魅力発信と
賑わい創出



防災意識の向上

01 イベント名称・開催日時・場所

こすぎ ペットえんがわ

実施日時:9月27日(土)10:00~16:00

実施場所:荒町緑地(神明すぎの森公園)

ご近所さんや来場者同士が、ペットを介して
気軽に話が弾むような場所になってほしい！



アートin小杉連携開催（両会場間徒歩1分以内！）(20年以上続く地域イベント)

→既存イベント集客力+「ペット連れ」層の呼び込み→相乗効果



企画紹介① 「肉球スタンプラリー」

目的：会場内回遊

スタンプのデザインにこだわりました！

『集めたくなる可愛さ』で参加者の満足度向上！



ありがとう

企画紹介② 「ペットお絵かきボード」

目的：来場者同士の自然な会話の創出

来場者が自由に書き込める落書きボード

テーマを「うちの子を紹介してね！」と設定



可愛いですね～



企画紹介③「コミュニケーションマーク配布」

目的：ストレスフリーな交流促進

- 「この子は人見知りだからなあ…」
- 「知らない人に触られたら噛みついちゃうかも」
- 「動物を見るのは大好き！！だけど、触るのはニガテ…」等の不安
→キモチが一目でわかる4種類のマークを用意



企画紹介④「ペット防災クイズ」

目的：ペット防災知識の周知

くるっと回すと答えが出る仕掛け
→『遊び感覚』で学べる展示
→ペット防災を意識しない層にも、
自然と知識を持ち帰ってもらえた



企画紹介⑤「グルメブース」

目的：地域資源の魅力発信

射水市内の3つの飲食店にご協力いただいた

- ・食堂 かわひがし
- ・おむすび ぐぐ屋
- ・icoOWLstudio



03 広報活動

情報発信：チラシ・イベント公式Instagram・ラジオ出演

チラシ設置：回覧板（戸破・三ヶ）・市内3高校・小杉駅・
動物病院・児童館・小杉駅付近商業施設など



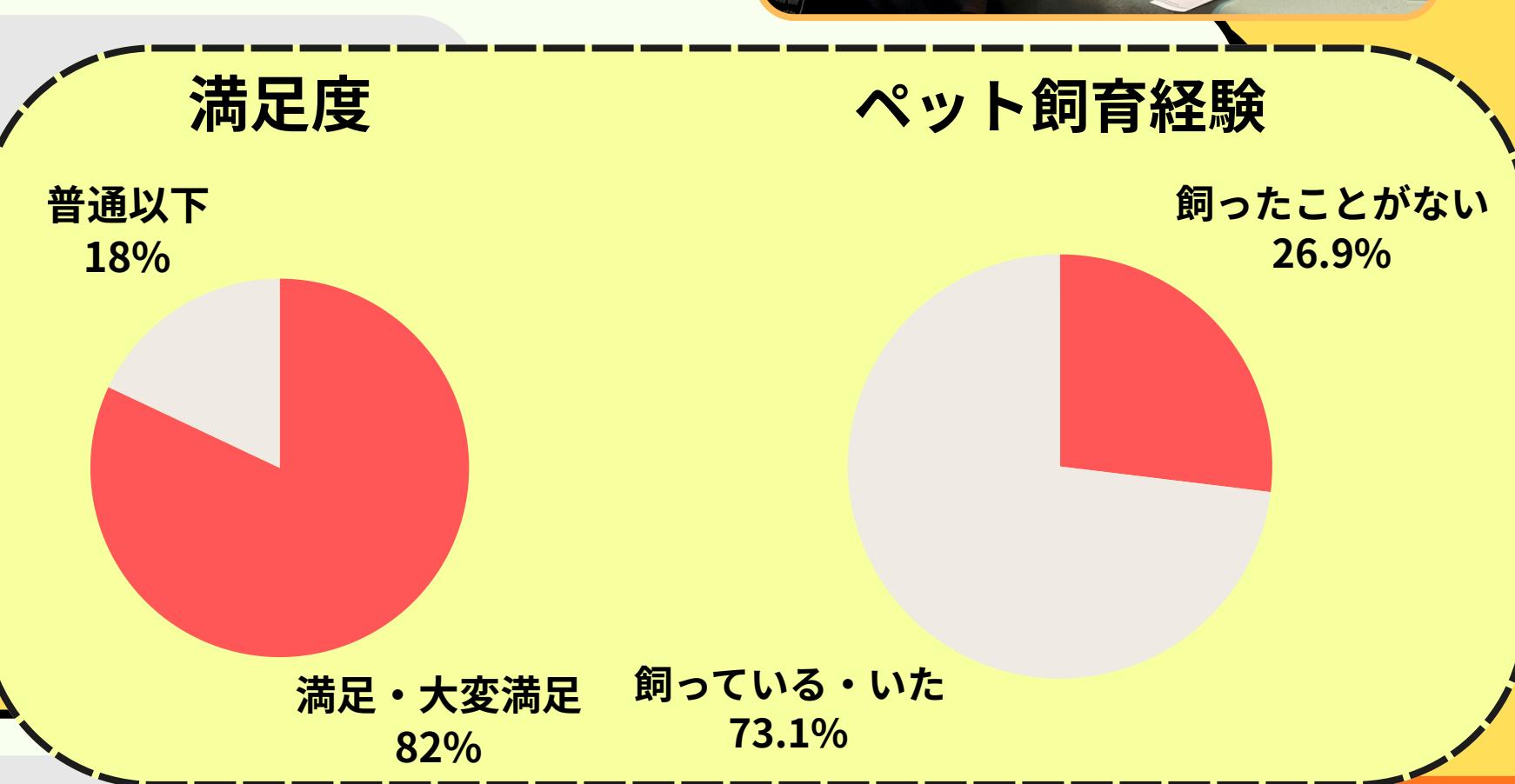
04 結果

来場者数：154人

大変満足・満足：82%

ペットを飼ったことがない：26.9%

リピート意向：約90%



05 来場者の声とまちの変化

人通り増加・市外からの誘客

学生さんが親切！

防災クイズがためになつた

荒町緑地をペットの聖地に！



ペットは、まちをつなぐ「鍵」になる。